

一人親方の保険加入問題 その対策を求めました

先週は緊急のお知らせと訴えをさせていただき6月議会の報告が中断しました。引き続き一般質問の2項目についてご報告申し上げます。一人親方への保険加入強要問題について質しました。自身のみで建設業などを行う「一人親方」は、労働者でないため雇用保険の加入資格も義務もありません。ところが、元請企業から「一人親方のグループで事業体をつくり雇用保険に入ってくれ、入らないと現場から出て行ってもらおう」といわれたことで、現場では大混乱と深刻な生活問題に発展しています。

労働者の就労環境の改善を目的とした国の『社会保険加入下請指導ガイドライン』の趣旨から外れた解釈で加入を迫られ廃業に至る事態が起きており、多くの相談が民主商工会に寄せられています。

「仕事をもらうため、雇ってもらわない人を雇用している状況をつくらないといけない」という矛盾の問題を取り上げ、早急に対策を求めました。

当局は「国のガイドラインでは義務のない保険加入まで求めていない。建設業界を通じ正しい趣旨の周知に努め、県の相談窓口利用促進を図る」と答えまし

県議員 奥村のり子 の 読者ニュース

2017年7月30日 第275号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



自民党にダブルパンチ 閉会中審査も大はたん

7月24日付「毎日」が1面トップで「内閣支持 急落 26%」「安倍氏続投反対62%」と報道。さらに同紙3面には「危険水域 政権に衝撃」とあり「支持率が20%台になった最近の主な内閣」で「20%台になってから退陣するまでの期間」は、一番長い人で9カ月、他は5カ月以内。ですから「危険水域」と言われます。質問では加計学園問題での政府説明が「信用できない」が76%。またアベ首相は8月3日にも内閣改造と言いつつ麻生財務相、菅官房長官は留任と言っているがこれについて「評価しない」が52%でした。

自民にとって支持率急落とダブルパンチは政令指定都市仙台市の市長選で自公候補が野党推薦候補に敗れたことです。共産、民進、社民、自由の4野党と「市民の会」の共同候補の郡(こおり)和子氏が当選。市政を変えてほしいと言う願いととも、安倍政権に対する市民の深い憤りがクリーンな受け皿としての野党候補を選んだのです。

24日、衆院閉会中審査をテレビで見ると、アベ政権は疑惑に答えず、側近たちも「記憶がない」「記録がない」のナイナイ尽くし。日刊赤旗の見出しだけ紹介します。「安倍政権疑惑にこたえず」、「側近」記憶にない「連発」、「これが「丁寧な説明」か」、「新たな疑惑次々と浮上」、「首相答弁大はたん」政権に自浄能力なし「国会の説明責任重大」などでした。(編集室)

のり子の週刊日誌(主なもの)

- 7月28日 市駅前・吉宗像前宣伝、生活相談
- 29日 平和のための戦争展
- 30日 産廃学習会、メガソーラー交流懇談会
- 31日 河西無料生活相談、紀ノ川駅エレベーター設置宣伝
- 8月 1日 会議、市女性後援会
- 2日 休み
- 3日 市駅前事務所無料生活相談、ティサービスボランティア

8月6日ロシマ

昭和29年3月1日が何の日かご存知だろうか。63年前のこの日、南太平洋マーシャル諸島のビキニ環礁でアメリカが水爆実験を実施した。周辺の島々の人びと、日本などの漁船の乗組員などが死の灰を浴びた。

ロンゲラップという人口325人の小さな島があるが、この島の人びとが残留放射能から逃れるためにふるさとを捨て、200キロほど離れた無人島に移住したのは実験が行われてから28年もたつてからだ。がんで死ぬ人びとがふえ、脳に障害をもつたり、手足の指が6本で生まれる子もまだいるという。

ふるさと「ロンゲラップ島に帰りたい」との島民の切なる願い。

原水爆禁止世界大会へ参加します



奥村県議と街頭で訴え

アメリカも同意し、いまから7年前に放射能の除去がおわり、村長が帰ってもいいと宣言。しかし、放射能を除去したのは島面積のわずか3%弱で、まだひとりも島には帰っていない。

たなばたの日の7月7日、国連加盟国193ヶ国のうち122ヶ国(63%)が参加して人類の歴史上はじめて核兵器禁止条約が採択された。世界でただひとり戦争被爆国の日本はこの条約に背をむけたままだ。核兵器廃絶を求める世界の主流が大きくなっている。ことし8月6日、原水爆禁止世界大会・ヒロシマに参加します。

た。
心当たりのある方はぜひご相談下さい。
(奥村のり子)

山口産廃学習会

- ◆七月三〇日(日)
午後六時三〇分
- ◆北コミュニティセンター(直川)
- ◆兵庫県姫路市夢前町の産廃の闘いを県会議員入江次郎氏(写



リレートーク Relay Talk

衆院1区予定候補 (党県副委員長)

原やすひさ

